

公共事業再評価事業別調査

担当所属	県土整備部	都市計画課
再評価実施要件	未着工	長期継続(10年)
	その他()	

1 事業の概要

事業種別	街路事業	事業主体	県	市町村	その他()			
事業名	3・3・2富士見町撫牛子線 (土手町)道路改築事業	地区名等	弘前市大字土手町～弘前市大字北瓦ヶ町					
事業区分	補助事業等 単独事業	負担区分	国 50% : 県 % : 市町村 50% : その他 %					
採択年度	平成5年度(用地着手)		平成5年度、工事着手	平成13年度				
終了予定	平成15年度(平成13年		2月計画変更<計画時	平成12年度>				
事業目的	当事業の実施により、交通渋滞の緩和と歩行空間の整備を図り、街のにぎわいを創出し中心市街地の活性化に資すること。							
主要内容	道路改良・舗装L=26.1m 幅員W=3.6m							
事業費	採択時総事業費 3,800百万円 単位:百万円							
		～11年	12年	13年	14年	小計	15年～	合計
計画 (うち用地費) <13年2月変更>		3,316	180	192	195	3,883	117	4,000
		(1,952)	(71)	(73)	(0)	(2,096)	(0)	(2,096)
実績 (うち用地費)		3,316	168	192	615	4,291	20	4,311
		(1,952)	(61)	(38)	(10)	(2,061)	(0)	(2,061)
その他								

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

AA・A・B・C

事業の進捗状況	単位: %		
		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 (うち用地費)	99.5 (100.0)	110.5 (98.3)
	工種毎割合 (主要工種)	用地取得面積	8,088㎡ / 8,088㎡
説明	平成14年度に用地買収完了し、平成15年度事業完了予定である。		
問題点・解決見込			
事業効果発現状況			

(2) 社会経済情勢の変化

AA・A・B・C

社会的評価	全国: 慢性的交通渋滞解消等、都市交通問題解決への社会的要請度は増している。 県内: 本県の都市計画道路の整備率は相当低く、その整備を求める声は依然高い。 地域: 中心市街地の空洞化に対する活性化の起爆施設としての早期完成が望まれている。
予算動向	国: 街路事業費は横ばい傾向で、重点投資による効率的事業執行が求められる。 市: 平成15年度事業完了に向けて予算は確保されている。
必要性等	弘前市の北部から中心市街地へ流入・流出する交通機能の円滑化を図るため、国道7号より順次整備を進め、中央大通り交差点までの区間については既に供用しているところである。 主要弘前岳鱒ヶ沢線までの本工区延伸整備が、交通量増加に伴う中心市街地に渋滞解消の大きく寄与するものであり、必要性・重要性・緊急性・効率性も高い。
その他	県事業: 3・4・1 和徳堀越線街路事業 H7～H15 市事業: 3・3・2 富士見町撫牛子線(山道町) H6～H15

(3) 費用対効果分析の要因変化

AA・A・B・C

費用対効果分析		計 画 時	再 評 価 時	増 減
	費用 (C)	百万円	5,215 百万円	百万円
	効果 (B)	百万円	15,721 百万円	百万円
	B / C		3.01	
変化内容	費用： 効果：			
B/Cへの影響	新規採択時の費用対効果分析実施要領は平成10年3月に策定され、当工区では算定されていない。			

(4) コスト縮減・代替案立案の可能性

コスト縮減の可能性	事業の進捗状況から可能性はない。
代替案の可能性	都市計画決定路線であり代替案の可能性はない。

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

住民ニーズ把握状況	商店街では街づくりに対する関心が高まり、環境整備計画を策定し実施に向けての行動を起こしている。
環境影響への配慮	
地域特性	中心市街地に位置する商業地

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 見直し継続 中止
評価理由	
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 見直し継続 中止
評価理由	
附帯意見	